



2022年6月18日

各位

会社名 サン電子株式会社
代表者名 代表取締役社長 内海 龍輔
(コード番号6736 東証スタンダード市場)
問合せ先 代表取締役専務 木村 好己
(電話 052-756-5981)

当社第51回定時株主総会の第6号議案に関する補足の訂正について

当社が、2022年6月7日に開示致しました「当社第51回定時株主総会の第6号議案に関する補足について」に記載致しました付与株式数に関する試算値について、より実態に近い付与株式数に訂正させていただきます。

記

当該議案につきましては、株主の皆様との価値共有を目的とし、中長期的な企業価値創造に向けた業績向上へのインセンティブを強化すべく、リストラクテッド・ストック・ユニット（以下、RSU）およびパフォーマンス・シェア・ユニット（以下、PSU）の導入をお諮りするものです。

当社は第46期から49期で4期続く赤字を計上し、資産はあるものの現金確保に苦慮する時期を経験致しました。この経験から、経営環境を大きく変えるためのリスクに適切に向き合い、スピード感をもって経営判断していく人材に対して、現金ではなく株式報酬に比重を置いた報酬制度が必要と考えました。

特に株式報酬の70%にあたるPSUに関しましては、KPI目標の達成度に応じ0~150%を支給する仕組みであり、目標達成への強い動機付けを意図した設計となっております。

当社第51回定時株主総会の第6号議案では、総枠としての株式報酬をお諮りしておりますが、予定している株式報酬は当社経営実態を鑑みて付与する考えであります。

当社といたしましては、経営陣が株価の変動による価値を株主の皆様と共有するとともに、中長期的な業績の向上と企業価値の増大への貢献に対する意識を高めることを目的とした報酬制度として、本制度の内容は相当であるものと考えております。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

本制度実施に伴う付与株式数および希薄化率につきまして、PSUの評価期間である3年間においてより実態に近い試算を行いました。本試算は取締役に対する付与分に従業員に対する付与分を加えた合計となります。

	付与株式数(株) ※1			発行済株式総数 (株, 2022/3)	累積 希薄化率	期中平均バー ンレート ※2
	RSU	PSU 最大	合計			
	a	b	c=a+b			
3年間	67,073	67,497	134,570	23,992,328	0.56%	0.19%

※1 対象役員毎の株式報酬支給最大額を合計し、2022/5/17時点の終値1,611円を基準に株数を算出しております。つまり、付与時点の株価水準により変動はいたしますが、想定される最大付与数として試算を行っております。

※2 総発行済株式数に対する株式付与数の比率を表すバーンレートは欧米企業を中心に使用される指標であり、株式報酬に関する希薄化率に当たります。例えば議決権行使助言会社である米国ISSは議決権行使基準に3年間の平均バーンレートを加え重要視しており、2022年ポリシーではテクノロジー系企業に関して平均4.08%、許容上限を7.26%としています。

以上